

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2014-157207(P2014-157207A)

【公開日】平成26年8月28日 (2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2013-27382(P2013-27382)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/30 3 9 0 C

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 4 2 D

G 0 9 G 3/20 6 4 2 K

G 0 2 F 1/133 5 1 0

G 0 2 F 1/1343

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日 (2015.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

本実施の形態では、1つの画素10内で、このような画素10G，10Wが、画素中心（例えば画素10のXY平面形状の重心）に対して対称性を有して配置されている。即ち、本実施の形態では、1つの画素10が、本開示における「単位領域」の一具体例に相当する。尚、輝度成分（Y）を多く含む色としては、上記G，Wの他にも、例えばY（黄色），Cyan（シアン）等が挙げられる。ここでは、本開示の「第1のサブ画素」および「第2のサブ画素」として、画素10G，10Wを例示するが、これらの画素10G，10Wのうち的一方または両方に替えて、黄色あるいはシアンを発光する画素が配置されていてもよい。また、1つの画素（ピクセル）内にこのような輝度成分を多く含む波長を発する画素（サブピクセル）を3つ以上含んでもよい。